



2 先進的な事例紹介

2.1 健康情報活用基盤実証事業(沖縄県浦添市／三省連携事業)

平成20年度から平成22年度までの3ヵ年で、沖縄県浦添市において、「健康情報活用基盤実証事業(総務省・厚生労働省・経済産業省の三省連携事業)」が実施されました。この実証事業の概要は、以下のとおりです。

(1)事業名「健康情報活用基盤実証事業(総務省・厚生労働省・経済産業省の三省連携事業)」

[浦添市の概要]

人口・世帯数(平成23年1月末現在)

総人口 111,651人 男54,648人 女57,003人

世帯 43,896世帯

年齢別人口区分

15歳未満 21,694人(19.4%)

15～64歳 74,461人(66.7%)

65歳以上 15,496人(13.9%)

面積 19.09Km²

(2)実証事業の概要

この実証事業では、個人が自己の健康情報を安全、安心に蓄積させ、自己で参照するとともに、それを医師、保健師等の医療従事者等に開示することで個人の健康増進に役立つと期待されている健康情報活用基盤について、利用者である個人、医療従事者、地方公共団体等の関係プレイヤーの視点から見た効果検証を行っています。検証にあたっては、携帯電話、インターネットを始めとする個人の利用する様々なネットワーク環境及び地方公共団体の保健センター、医療機関のネットワーク環境を利用して、個人が自己の健康情報を自分の管理下に置き、各種情報の蓄積、参照を可能とし、且つ医療従事者による保健指導を始めとする様々な健康増進のためのサービスを、安全、安心に享受できる環境の実現の観点で実施しています。

(3)全体概要イメージ

本実証事業の全体イメージは、以下のとおりです。

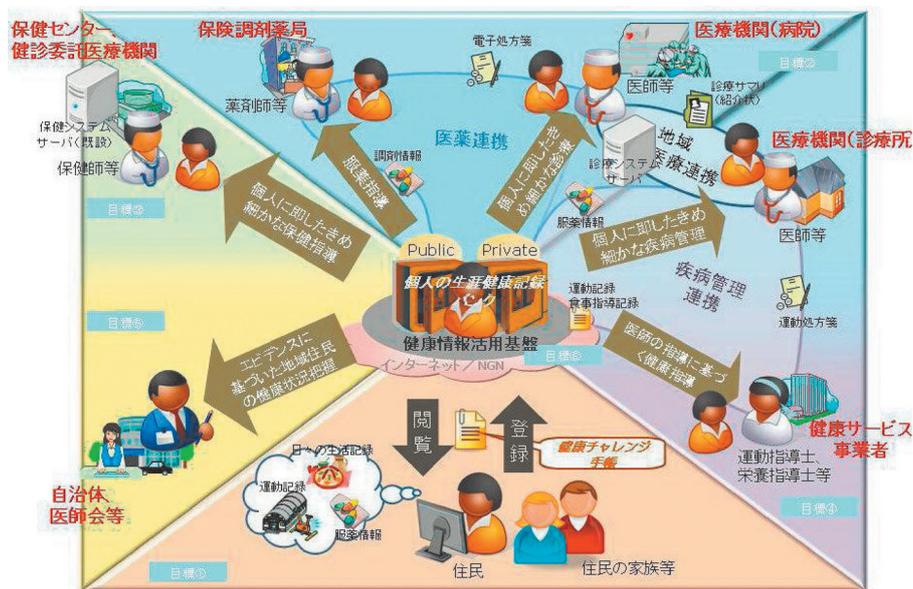


図2-1 健康情報活用基盤実証事業全体
出典:「健康情報活用基盤実証事業 3ヵ年グランドデザイン」(総務省・厚生労働省・経済産業省)

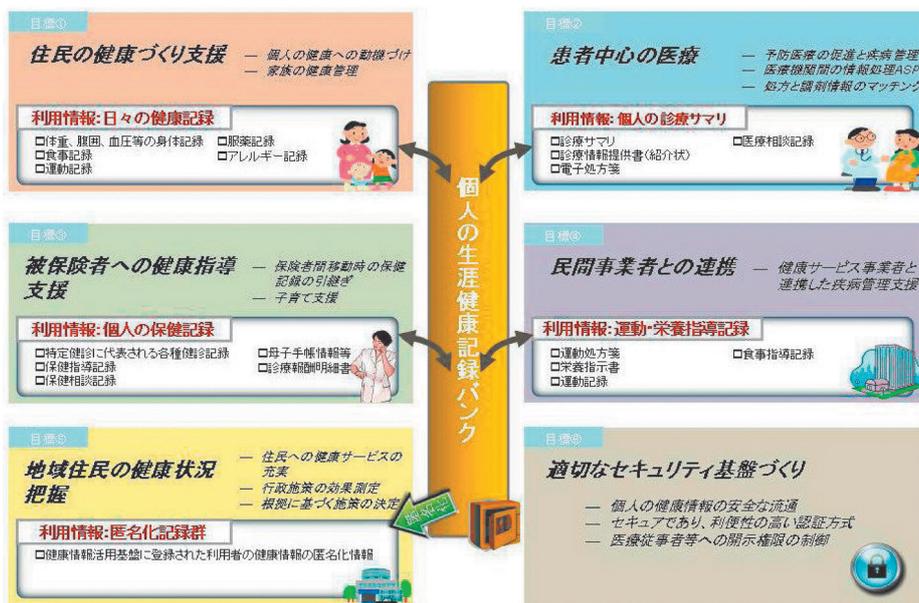


図2-2 健康情報活用基盤実証事業(総務省・厚生労働省・経済産業省の3省連携事業)概要
出典:「健康情報活用基盤実証事業 3ヵ年グランドデザイン」(総務省・厚生労働省・経済産業省)

(4)三省における実施内容

■ 健康情報活用基盤の構築—適切なセキュリティ基盤づくり

① 健康情報流通基盤の構築<総務省事業>

- ▶ 汎用的なデータ記述方式で記述された点在する個人の健康情報を標準的なサービス技術を活用し



特集 2

あなたが住む街の医療・健康・福祉情報への取組

て相互に安全に流通できる機能の提供

- ▶ アクセスするサービスが要求するレベルに合致した認証機能の提供
- ▶ 個人が認証可能な医療従事者等の第三者への開示制御機能提供

② 健康情報活用基盤モデルシステム開発<厚生労働省事業>

- ▶ ICカード及びHPKIを用いた本人認証方式の基盤上での開発、実証
- ▶ 利用者への認証アプライアンスの発行、サービス登録等の運用方法の検証
- ▶ 基盤上の他のアプリケーションとの容易なデータ連携、利活用を促進させる健康情報データモデル検討とモデルデータベースの構築、実証
- ▶ 基盤における各種健康情報の収集方法の検証

■ アプリケーションコンテンツの開発

③ 市民、就労者の健康づくり支援<厚生労働省事業>

- ▶ 健康チャレンジ手帳のデータ電子化とアプリケーション開発（ユーザ登録、健康情報登録、健康情報表示）及び実証

④ 地域の疾病傾向等を把握してエビデンスに基づいた保健医療計画の策定支援<厚生労働省>

- ▶ 基盤により収集されたデータの匿名化方式の検討と匿名化DBの構築、実証—情報収集AP開発、統計分析AP開発

⑤ 患者中心の医療

(i) 疾病管理サービス<経済産業省>

- ▶ 疾病管理サービスの開発、実証
- ▶ 予防医療の促進として、担当医と疾病管理サポーター（健康サービス事業者）が、疾病管理対象者の診療後の日々の生活の中で求められる疾病管理を効果的に行う疾病管理サービスモデルの策定、開発、実証

(ii) 電子処方箋の運用、診療ASP（外部保存）<厚生労働省事業>

- ▶ 診療情報DBでの診療情報サマリのデータモデルの試作及びDB構築、実証
- ▶ 電子処方箋モデルシステムの試作・有意性の検証、処方情報と調剤情報との突合と医師へのフィードバック及び服薬情報の管理、調剤薬局での服薬指導などの利用実証

⑥ 保健事業における特定健診データの活用<厚生労働省事業>

- ▶ 特定健診データ活用サービスとしての支援AP開発（健診ユーザ登録、健診結果データ登録等）と実証

⑦ 民間事業者との連携<経済産業省事業>

- ▶ 健康サービス事業者による疾病管理サービス支援の開発と実証
- ▶ 疾病管理サポーター（健康サービス事業者）が担当医の運動処方箋をもとに運動指導プログラムを効果的に策定し、運動指導プログラムの実践結果を疾病管理サービス情報として共有する仕組みの開発及び健康サービスビジネスの視点を含めた実証

以上「経済産業省 健康情報活用基盤構築のための標準化及び実証事業 浦添地域健康情報活用基盤構築実証事業プロジェクト 平成21年度事業成果報告書 代表団体：日本システムサイエンス株式会社 平成22年3月」より抜粋（書式等は変更）

<https://microsite.accenture.com/meti/Pages/default.aspx>